

ますます充実！ 佐賀県腎友会「ふれあい」 通院介護支援センター

佐賀県の通院介護支援センター「ふれあい」の合同研修交流会が、十一月十一日の日曜日、佐賀市で開催されました。「さわやか」からはスタッフ・ボランティア計八人が出席させていただきました。当日は曇一つない晴天に恵まれ、バスは軽快に高速を走り、予定通りに会場に到着しました。

「ふれあい」は、「さわやか」に次いで設立され、今年で二周年を迎えられました。その間に、佐賀・唐津・白石・伊万里に事業所を開設し、全国で唯一、県内全域をカバーする通院介護支援センターとなりました。

まずと、「行政ではできないことでもボランティアならできるとある。」また「ボランティアは無理をしてはいけません。できる時にできる事をやっていただければいいのです。」それからボランティアと奉仕の違いについても述べていました。「奉仕は組織や人のために尽くす。という意味があり、そこには強制的なところもあります。しかし皆さんがやっておられるボランティアには、全くそういったものはありません。『自分がやりたいから』あるいは『自分のためになるから』とおっしゃる方もおられます。」

事業報告等をお聞きしながら、富崎会長、早田事務局長、コーディネーターの皆様のご苦労はいかばかりであったかと推察いたしました。講演会では江頭会長が「ボランティア活動と介護保険について」という演題で講演いたしました。非常に興味深く、皆様からも好評をいただきました。ほんの一部をご紹介します。

し、ビンゴゲームでは全員に賞品をいただきました。そして自己紹介でのボランティア諸氏のあたたかく心強いコメントをお聞きし、同じ通院介護事業に係わる一員として嬉しく思い、より一層ボランティアさんへの感謝の気持ちが大きくなりました。

参加していただきたいと思えます。最後に、「ふれあい」の皆様へ、楽しい研修交流会に参加させていただきありがとうございます。これからも私ごとさせていただきます。これからも私たち「さわやか」に、貴重な情報や叱咤激励などよろしくお願いたします。(岡)



通院介護支援センター「ふれあい」 研修交流会に参加して

小倉事業所コーディネーター 寄友 絹枝

十一月十一日、「ふれあい」のボランティア交流会に参加させていただきました。当日の天気予報では、お昼から雨...との事でしたが、朝から上天気でした。途中、佐賀平野に熱気球が三機ふわりふわりとのんびり浮かんでいました。高速道路の佐賀大和で降りて十分ほどで会場の「パル21」に着きました。他の交流会への参加は初めてでしたので、「さわやか」の参加者八人で思いっきり飲んで、騒ごうと張り切っていました。案内された席は知らない方の横でした。しかし、すぐにあいさつをして透析の事やボランティアの事等のお話ができ、本来の目的である交流ができました。又ビンゴゲームではお隣の席の方と同点決勝の末、見事に二等が当たり陶器(黒牟田焼)をいただきました。開けて出してみると、選んでいただいたように私の大好きな色合いでした。本当にありがとうございます。『ふれあい』事務局の皆様さんの心遣いを感じました。

★事務局より お・ね・が・い★

ただ今「さわやか」小倉・八幡の両事務局では12月の5周年記念祝賀会の準備に追われております。都合上どちらかの事務所を空ける事が多くなり、事務局に来てくださるボランティアの皆様には大変ご迷惑をおかけしております。そこで、12月7日まで、事務局にお越しくださる際には事前に電話で確認していただくようお願いいたします。



~~~~~  
木枯らしの吹く季節になってまいりました。「インフルエンザ」という言葉もちらほら聞こえてきます。ボランティアの皆様や利用者の皆様にはくれぐれも体調を崩されませんように...



# 「さわやか」エピソード集

ボランティアの佐藤さん。いつもは平服ですが、今日はバリッとしたスーツ姿。スーツは胸で着るといいますが、マッチョマンの佐藤さん、パチッときまっていました。さわやかレディース一同「カッコイイ」羨望の眼差しでながめていました。その佐藤さん、デジカメでパチリパチリと写真を撮っていました。「さわやか」に寄付していただいたコンピュータで、現像をしていただけることでしょう。

岡副会長。当日乾杯の音頭をとるようになわれ、江頭会長の講演はそこそこに、乾杯の音頭の文案を考えていたとか。さすが、素晴らしい乾杯の音頭ができました。帰ってからの反省会で「江頭会長の話がよかった」と。嘘をつけ！

直方に住んでいる、高原由美ちゃん。行きも帰りも鞍手PAで昇降しました。帰りはお父さんが迎えにみえていました。微笑ましい家族愛を見た感じで、ほのほのとした帰路でした。

エピソードのないことで有名な梶原さん。今回も黙々と裏方の仕事に専念していました。今回もエピソードのないというエピソードを作りました。

寄友さん。乾杯のあと、隣の人から『お酒はどうですか』と勧められると、もじもじして、小さいオチョコをだしていましたが、そのうち、本性まるだして、コップ酒になりました。何杯飲んだかは内緒。ご想像におまかせします。「さわやか」のゴッド姉ちゃん今後もがんばれ。

交流会で、「さわやか」に敬意を表して、最初に挨拶をするように司会者が指名しました。突然の指名、江頭会長、山田浩美コーディネーターに、指名を振りました。突然の指名に動することなく、素晴らしい挨拶をしました。帰りの車の中で、江頭会長に「むかつく、むかつく」とくっついてかかっていたがさすが「さわやか」のドン。堂々たるものでした。

江頭会長。ピンゴゲームの賞品、22等が一番いいと聞き、22等狙いにゆきました。ピンゴが始まり、満を持していた会長、22等の順番のとき、ピンゴしました。22等はじゃんけんになりました。会長は1番違いの21等。ハズレ。でも22等は大きな虎のぬいぐるみ、21等でよかった。

山田勲さんは、前日病気で会社を休んでいたそうですが、当日は、早朝からバス停まできてくれ、交流会に参加しました。「さわやか」に対する意気込みの強さを感じさせる一コマでした。今後ともがんばりましょう。

